

「地域を見直す講話」

7月8日（金）に地域を見直す講話「新たな高山を目指して」というテーマで、高山商工会議所の蓑谷雅彦様にご講演いただきました。ふるさと教育の一環として、故郷への誇りや愛着を深めることや、高山市の現状や企業の取り組みを知ること、今後の進路開拓の一助とすることを目的に行いました。講話では、高山市の労働人口や観光客の推移などの詳しい情報や、魅力（伝統、歴史、食文化）について幅広く説明していただきました。これからの高山市にとって、生徒一人一人が、地元を支える貴重な人材であり、将来、高山で働いてくれることを願っているというメッセージをいただきました。

今回の講演を通して、地元への理解が深まるとともに、これからの進路選択に役立ててほしいと思います。

（生徒の感想）

・改めて高山の良さを知ることができてとても良かった。なかなか知ることのできない観光客の数や海外から来てくださる方々の国の割合も初めて知ることばかりで楽しかった。また、今高山市が国際化への取り組みや外国人観光客受け入れのための取り組みをしているなど色々してくれているという事を知ることができてよかった。

・高山は良いところであるということを確認しました。伝統や歴史が昔のまま息づいている飛騨高山は、私たちのような若い世代が受け継いでいく必要があるのだと思いました。それ以外の観光資源や食文化についても、県外に出たとしても魅力を伝えたり、実際に作ったりできるのは、「良く知っている地元人」にならねばなりません。より飛騨高山に対する理解を深め、地元の価値と誇りとして大切に、伝えていきたいです。

